

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年2月2日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明をさせていただきます。

広報日程の1ページ目、2.、2月2日金曜日、本日でございます。（1）の審査会合が現在開催されている最中でございます。議題は、記載のとおり2件ということとなっております。

まず、議題の1つ目といたしまして、北海道電力・泊発電所の敷地の地質及び地質構造につきまして、前回の議論を踏まえ、北海道電力から今後の調査・評価の方針について説明を受け、議論が行われたところでございます。

現在、議題2に入っているところと承知しておりますが、議題の2つ目といたしまして、中国電力・島根原子力発電所の地震動評価についてということで、基準地震動の策定について、初回、初めてとなります議論が行われているところでございます。

続きまして、2ページ目、2月8日木曜日、（4）の審査会合及び（5）の審査会合が続けて開催される予定でございます。

（4）の審査会合は、こちらは午前中でございますが、議題といたしまして、東北電力・女川原子力発電所2号機の審査が行われる予定でございます。内容としては、シビアアクシデント対策に係る有効性評価ということで、具体的には停止時及び津波対策等に係る評価について、審査を行う予定でございます。

同日の午後に（5）の審査会合が開催される予定でございます。こちらはいわゆる特重施設に係る審査のため、非公開とさせていただきます。内容といたしましては、九州電力・玄海発電所3号機、4号機に係る審査を予定しているところでございます。

私からの御説明は以上でございます。

### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。すみさん。

○記者 共同通信のすみです。よろしく申し上げます。

またいつものごとく全然関係ない話なのですが、先日、フランスの方でASTRID（アストリッド）の計画を縮小するというような話が出ているという報道がありまして、別に政府が発表したわけではなくて、政府内でそういうことが検討されているという報道のようなのですが、これについて規制庁さんの方で何か把握されていらっしゃるのか。例えば、来週の定例会のトピックスに入るのかどうかとか、状況がもし分かれば教えてください。

○大熊総務課長 今お話しいただいた、御質問いただいた件、私のところに特に情報は入ってきておりません。また、委員会等で報告といったような予定も、現時点では決まっている、入っているということはございません。

○司会 ほか、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。ヒガシヤマさん。

○記者 朝日新聞のヒガシヤマです。

来週月曜日の臨時会議のところの高浜の特重の審査書なのですが、ここで特重の審査書案の内容の方向を決めて、改めて公開の定例会でいわゆる意見照会のところを決めるという、そういういつもの流れでよかったのでしょうか。

○大熊総務課長 おっしゃるとおりです。この臨時会議で非公開の形で施設等に関する審査に関する委員会での議論をし、その後、意見照会を含めて、公開できる部分について、公開の委員会、定例会になると思いますが、そこで審議をし、審査書案の取りまとめと、こういう流れになってまいります。

○記者 確かに特重なので、パブコメはしないということですよ。

○大熊総務課長 少なくとも技術的内容については、できないということでございますけれども、全体についてもそういうことになると思いますけれども、まだちょっと委員会の議題にも上がっておりませんので、確定ということではございません。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、いらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—